

2025秋号

ほ、元み

《病院理念》

私達は院は「誠」の医療を推進いたします

1. 私達は他人の為に尽くして感謝しよう

1. 私達は自分の力で伸びて行こう

1. 私達は私達の規則を尊重しよう

《基本方針》

1. 地域に根ざした病院として、安心できる医療提供に努めます

1. インフォームドコンセントを徹底し、患者様の選択を尊重した医療をめざします

1. 患者様のプライバシーを尊重いたします

1. 知識と技術の向上に努め最善の医療をいたします

1. 優しさ思いやりを大切に心のこもった公平な医療をいたします

皆さんは「放射線科」と聞いて、どのような仕事を思い浮かべますか？最近ではテレビドラマなどで放射線科が取り上げられる機会も増え、少しずつ認知が広がってきていますが、実際の業務についてはまだあまり知られていない部分も多いかもしれません。放射線科は診察や手術を直接行うわけではありませんが、画像診断を通じて病院全体の診療を支える、縁の下のような存在です。

放射線科の主な業務は、大きく3つに分かれます。

1つ目は、CTやMRIなどで撮影された画像を読影し、病気の有無や状態を判断して診断結果を医師に伝える「画像診断」。



◎診察日【放射線科】
月～金曜日 8:45～12:00
13:30～17:00

2つ目は、がんなどの病気に対して放射線を用いて治療を行う「放射線治療」。

3つ目は、カテーテルを用いて血管の中から治療を行う「血管内治療（IVR）」です。

当院ではこのうち、「画像診断」の業務を行っています。

当院の放射線科は、常勤医師1名と非常勤医師2名、診療放射線技師9名（うち1名は育休中）で構成されています。検査画像の撮影は放射線技師が、画像診断（読影）は放射線科医師が担当しています。

現在、当院で行っている主な画像検査には、一般撮影（レントゲン）、マンモグラフィ、X線透視、CT、MRIなどがあります。

2024年度の月平均では、CT検査が582件、MRI検査が235件と、非常に多くの患者さんにご利用いただいています。

当科の特徴の一つが「24時間体制」です。救急医療に力を入れている当院では、放射線



Instagram はじめました

薬剤科

薬剤科についてだけでなく
院内やスタッフの休日についても
発信していきます
フォローをお願いします

@niihama_jyuzen_yakuzai

看護部

フォローよろしくお願いします!!

@niihama_jyuzen_kangobu

所在地のご案内

交通のご案内

《お車》新居浜ICから約20分、いよ西条ICから約20分
【駐車場完備 272 台収容可能】

《バス》瀬戸内バス …… 「十全総合病院前（広瀬→多喜浜線）」下車
「十全病院南口（今治→マイントピア別子線）」下車

《JR》JR予讃線 …… 新居浜（いはい）駅下車、タクシーで約10分

一般財団法人 積善会 十全総合病院

〒792-8586 愛媛県新居浜市北新町1番5号
TEL(0897)33-1818 FAX(0897)37-2124

ホームページアドレス <https://jyuzen.jp/>

編集 広報誌編集活動委員会

医療・福祉 十全グループ

- 十全看護専門学校
あたたかい気持ちとあつい心をもった看護師の育成を図っています。
- 愛媛十全医療学院
理学療法士、作業療法士の育成
校是【博く学び、深く思い、厚く思いやる】
- 愛媛十全医療学院附属病院【内科・整形外科】
生活能力の回復と維持を図っています。
- 医療法人 十全会 十全ユリノキ病院【精神科】
あたたかい心、思いやりの心、私達は心の医療を推進します。

社会福祉法人 三恵会

子供から高齢者まで、幅広い世代へのお世話を
行っています。

総合福祉施設

介護老人福祉施設

介護老人保健施設

障害者支援施設

児童福祉施設

児童福祉施設

総合福祉館

福祉

養護老人ホーム

やすらぎの郷

ハートランド三恵

リハビリステーション三恵荘

希望の館

三恵ホーム

十全保育園

中秋保育園

コミュニティハウス三恵

恵海

新居浜市立慈光園

健康教室

予約不要

日時 毎月第2水曜日 14時～

会場 外来棟3階 研修室
(入院患者様で場所が不安な方は
お連れいたします)

10月 8日 (水)
冬の感染症に気を付けよう
フットケアについて
担当：感染管理認定看護師、
糖尿病看護認定看護師

11月 12日 (水)
クリスマスの楽しい食事
クイズで学ぼう糖尿病
担当：管理栄養士

12月 10日 (水)
皮膚の乾燥とスキンケア
おせち料理をおいしく食べよう
担当：皮膚・排泄ケア認定看護師、
管理栄養士

病院敷地内 全面禁煙

トイレや人目につかないところでの喫煙は防火
管理上も大変危険ですので、喫煙はくれぐ
れも遠慮ください。皆様のご理解とご協力
を、よろしくお願いいたします。 病院長

患者さまの権利

私たちは患者さまとのより良い信頼関係を
築くため、「患者さまの権利」を尊重します。

1. 良質で安全な医療を平等にうける権利

1. 病気の診断・治療方針・今後の見込み
について十分な説明をうける権利

1. 他院を含め他の医師の意見(セカンド
オピニオン)を求める権利

1. 自分が受ける医療に参加し自ら決定す
る権利

1. 診療上の個人のプライバシーについて
保護される権利

1. 診療記録の開示を求める権利

患者さまの責務

1. 医師が説明し同意した治療方針に協
力する義務があります。

1. 自分自身の健康に関する情報はできる
限り正確にお伝えください。

1. 院内の規則を守り、他の患者さまの治療に
支障を来さないよう協力をお願いします。

応しています。撮影後は速やかにレポートを作成し、緊急性の高い異常が疑われる場合には連絡を取ったりすることもあります。こうした柔軟な対応により、地域の医師の診療を支え、患者さんにとっても安心して受診できる体制づくりを目指しています。

私が日々の業務の中で特に大切にしているのは、「正確で迅速なレポート作成」です。検査によって偶然見つかる病変も少なくなく、診断が遅れることで治療のタイミングを逃してしまうことがあります。なるべく検

.....

査当日中に読影を終え、主治医が速やかに治療に進めるよう心がけています。

また、当院では研修医の受け入れも行っており、放射線科を選択した若い医師への指導にも力を入れています。将来の放射線科医に、画像診断の重要性とやりがい伝えることも、私たちの大切な役割の一つです。放射線科は、画像という「医療の目」を通して、皆さんの健康と命を守るお手伝いをしています。これからチーム一丸となって、安全で質の高い医療の提供に努めてまいります。

ほほえみ医療メモ

安心して治療を受けてもらうために 「抗がん薬と血管のお話」

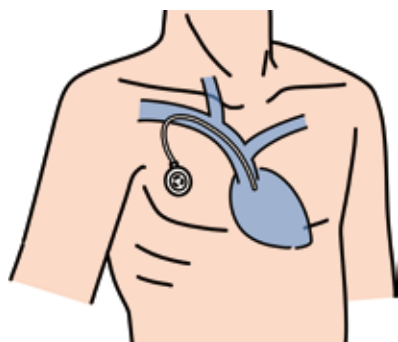
がん化学療法看護認定看護師 松浦 志信

がん治療のひとつに「抗がん薬を使った治療」があります。その投与方法は内服や注射など様々ですが、薬を血管から点滴で体に入れる投与方法は「抗がん薬に耐える血管を選ぶこと」がとても大切です。

抗がん薬の中には、血管の外に漏れてしまうと、皮膚や組織に強いダメージを与えるものがあります。それは単に薬が漏れた部位に苦痛が生じるだけではなく、そのダメージによって再生せず、外科的処置が必要になることもあります。また治療計画に基づく投与量を達成できず、治療自体を妨げる事になります。そのようなことにならないよう、適切な血管確保を行う必要があります。

できるだけ安全に薬がしっかりと流れていく太い血管を選び、かつ穿刺した針が容易に固定できる部位にするように心掛けています。

また、治療が繰り返し行われる場合、血管が細くなつて見えにくくな



(図1)

り、点滴が難しくなることがあります。この場合、皮膚の下に「ポート」(図1)という小さな器具を埋め込み、そこから点滴できる方法を選ぶこともあります。

「今日はちゃんと血管が見つかるかな」「また何回も刺されるのかな」と患者様が不安を抱えて抗がん薬治療を受けることがないよう、少しでも心穏やかに治療が受けられるように支援をしていきます。

ほほえみ医療メモ

透析療法について

臨床工学科技師長 吉岡 淳志

慢性腎不全が進行し、腎臓の機能が失われてしまうと、血液中の老廃物(いわゆる尿毒素)が腎臓でうまく濾過されず、排出されません。尿量も減少するため、水分も体に溜まり、心不全の状態になる恐れがあります。腎臓の機能が残っている早期から治療を開始すれば、腎機能の低下を防いだり、遅らせたりすることが可能ですが、腎不全が末期になると、腎移植以外では元のように尿が出る状態には戻りません。そのため腎臓の機能を代替するために人工透析という治療があり、現在わが国では約30万人の方がこの治療を受けています。

人工透析では、血液を体内から外部へと出してきれいにし、再び体内に循環させます。このため1分間に約200〜250mlの血液を取り出す必要があります。これを通常4時間かけて行います。普通の静脈血管ではこれだけの血液量を確保できません。そのため手術によって動脈と静脈を継ぎ合わせた、シャントと呼ばれるものを

れるものを利き腕と反対の腕に作成します。このシャント血管に脱血用と返血用の針を刺し、専用の透析装置を用いて血液を人工腎臓(ダイヤライザー)に送血します。ダイヤライザーの中で「透析液」と呼ばれる特殊な薬剤を用いることで、尿毒素や過剰な水分が取り除かれ、きれいになった血液を体内に戻します。当院では、合併症防止のため、より清浄化された透析液の安定供給に努めており、透析学会基準をクリアしています。更に、合併症予防に効果があるといわれている特殊な透析療法「血液濾過透析」も積極的に進めており最新の装置も導入しています。

入院透析はもちろんのこと外来透析、そして月・水・金曜日には、日中お仕事をされている方のために夜間透析も実施しております。各ベッドには液晶テレビを完備し、看護師と臨床工学科技士が、できるだけ合併症の少ない人工透析治療に努めています。随時見学も受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

対外活動委員会

新居浜市出前講座開催報告

日時 7月16日(水) 13時30分〜15時00分
場所 愛媛県総合科学博物館
受講者数 39名

講師 作業療法士 曾我部 有司

内容 リハビリレクリエーションによる認知症予防

- ① 軽度認知症について
- ② リハビリレクリエーション
- ③ 昔の写真を見返してみた
- ④ みんなで踊ってみた

認知症について理解を深めて、実際に身体を動かしてリハビリレクリエーションを行った。みなさん熱心にお話を聞いており、楽しく認知症予防について学んでいた。

最後は、また講演をして欲しい、楽しかったという声も多くあった。



十全公開糖尿病教室 糖尿病の事を正しく知ろう

日時 11月26日(水) 9:30 ~ 12:00
場所 正面玄関会計前
参加費 無料(申し込み不要)

◆自分の身体の状態をチェックしよう!

- 管理栄養士のベジチェック
- 臨床検査技師の血糖と血圧測定
- 理学療法士の体力チェック

◆お悩み相談コーナー

糖尿病薬物療法認定薬剤師・糖尿病看護認定看護師・管理栄養士たちが治療のこと、生活のことなどの困りごとに相談にのります。



クリスマスコンサートのご案内

日時 12月25日(木) 9:00 ~ 11:30
場所 玄関棟2階 待合ロビー